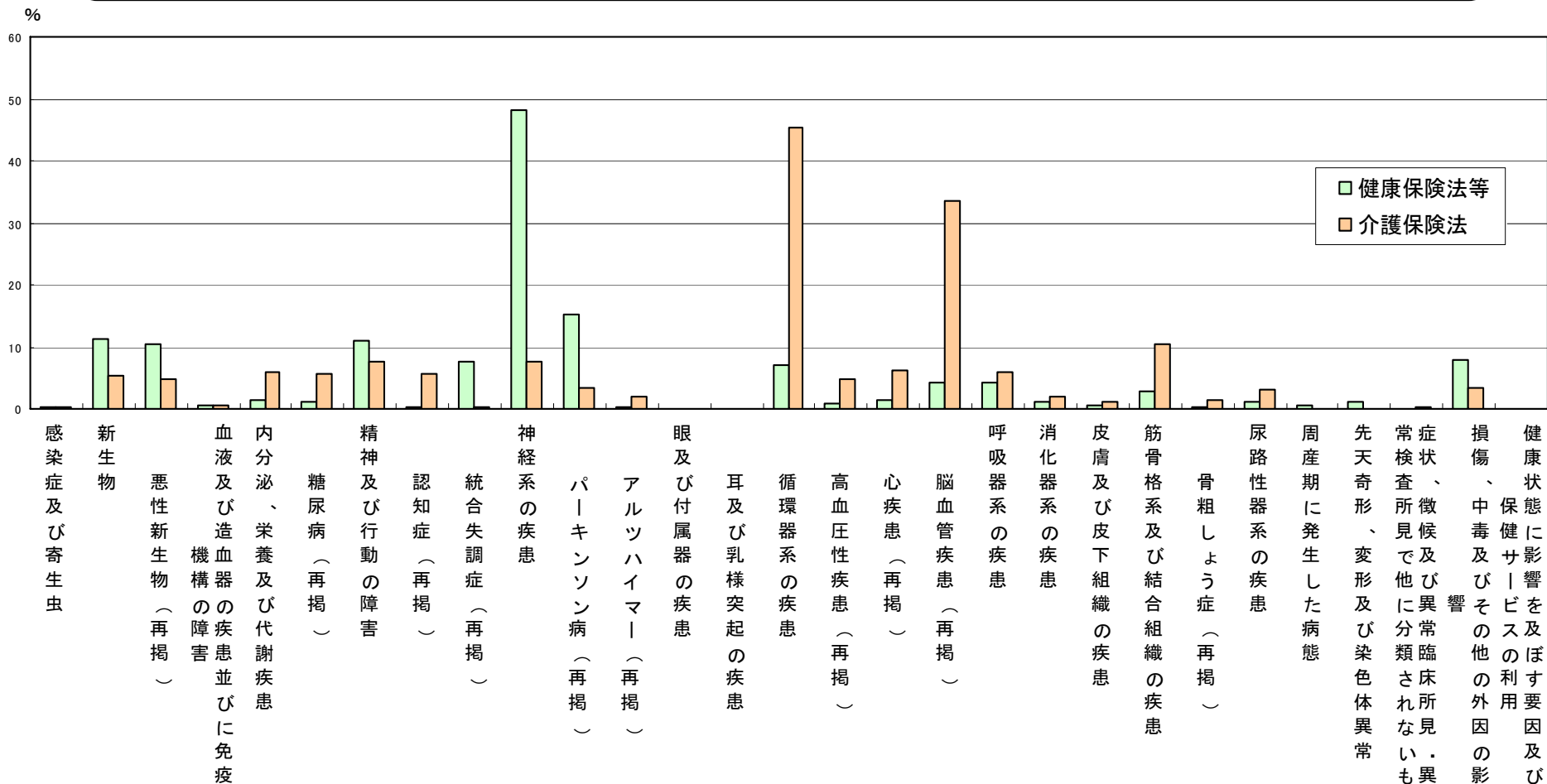


訪問看護ステーション利用者の構成割合 (主傷病、適用法別)

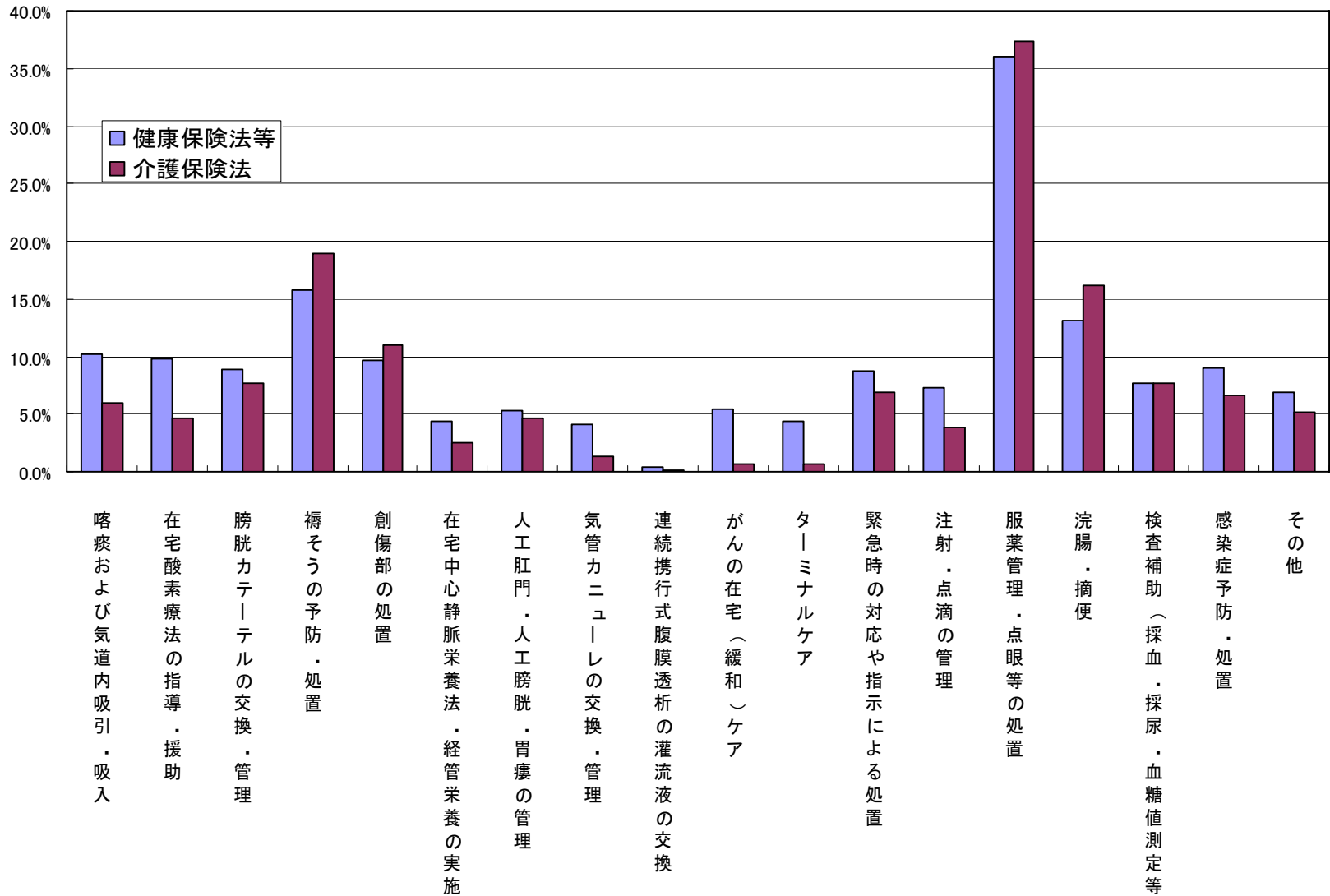
訪問看護ステーションの利用者は、医療保険では、神経系の疾患、新生物等が多く、介護保険では、脳血管疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患が多い。



出典：平成16年介護サービス施設・事業所調査

訪問看護の実施状況①

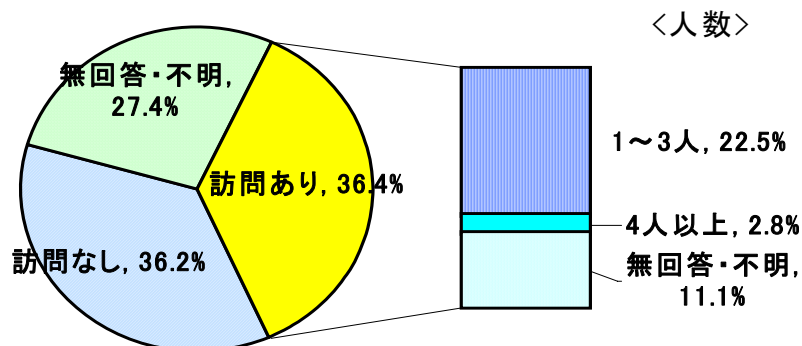
医療保険の訪問看護利用者では、在宅酸素療法の援助、喀痰及び気道内吸引、膀胱留置カテーテルの管理等、医療処置に関するニーズが高い。



訪問看護の実施状況②

退院前に2回以上、医療機関や施設を訪問したことがあるステーションは36.4%。
 利用者の特性では、がんターミナル、重症者管理加算対象者が多い。

退院前2回以上訪問の状況 (n=685)



退院前2回以上医療機関・施設を訪問した患者の特性(複数回答)

N=244

	事業所数	割合
がんターミナル	125	51.2%
難病	63	25.8%
上記以外の重症者管理加算又は特別管理加算算定者	90	36.9%
認知症	59	24.2%
認知症以外の精神疾患	16	6.6%
その他	58	23.8%
計	244	100.0%

出典：訪問看護ステーションにおける在宅療養支援診療所との連携に関する研究、平成18年度日本看護協会